

卯月 愛南文芸

城辺俳句会

一周忌泪止まらぬ寒の月
白魚の漁する水面きらめきて
悩ましく猫の夜会や春炬燵
しば犬のさんぼの後の日向ぼこ
さざ波は旋律のごと風光る
冬の草しかつと大地つかまえて
溪谷に断層走り寒の水
恩師訪ふ幽居隙なく君子欄

北原 桃代
宮田志賀子
出口 恵子
山田 静恵
加納 幸子
大浜 紀子
松本 種夫
大和田いそ子

内海俳句会

春の海鳶の輪影もて遊ぶ
汐干果て蟹が手招く忘れ潮
乾坤の春光万里詩魂駆く
幻影の行き摺る翳か朧の夜

太田 信子
岩森十志子

城辺川柳会

「私」
見て見ぬ振り出来ない私お節介

能子

泣き笑いの道乗り越えて来た私
年輪と私の心角が取れ
善と悪私の中に棲む依怙地
生きることに死ぬことさえも私流
書こうかと思う私の一代記
私にも小さいけれど意地がある
本当の私探しをする私
春風に私好みの色を着る
頑張った私今では何も無い
行く末は風に任せている私
子らに会う私は隠す顔の皴

栄華
ふじ子
あき子
拡
玉子
撫子
百代
一会
律子
暁
佐賀

新くさの葉短歌会(なすな)

二人目のひ孫さずかりうれしさに又長生きを願っております
実のあまた生りるし金柑も丈高き富有柿も伐られ駐車場となりぬ
節分に家族の安全願ひつつ七種の具を入れ恵方巻作る
トンネルに入りし列車の窓見れば私が私を覗いておりぬ
豌豆の白き花咲く日溜りにおしゃべりの輪の広がっていく

藤森多摩子
松比良スミ子
高橋千代子
宮下喜久子
河上 明美

はじめまして。赤ちゃん。

2月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

ご冥福をお祈りします。

2月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	享年
-----	--------	----

※上記情報は、広報誌掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。